

仙建協と市民みんなの情報マガジン

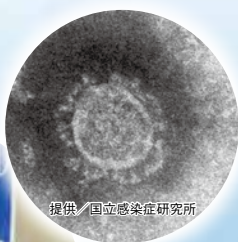
フォーサイト

F O R E S I G H T

巻頭特集

大震災から10年

会員企業の激闘の記録と
復興の軌跡を振り返る



提供/国立感染症研究所



〔企画特集〕

新型コロナウイルス感染拡大

職場や現場で求められる新しい「建設業様式」

〔座談会〕

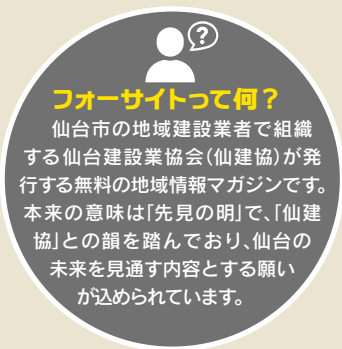
おしえて先輩 建設業界のコト

「仙台工高在校生 & 仙建協会員同校OB

会員の現場紹介」温泉と食「融合の複合施設「アクアイグニス仙台」

フォーサイト・ドクター 現場の感染症対策

2020 No. 64
F O R E S I G H T



2020
No.64

CONTENTS

巻頭特集

- 02 **大震災から10年
会員企業の激闘の記録と復興の軌跡を振り返る**
- 企画特集
07 **新型コロナウイルス感染拡大
職場や現場で求められる新しい“建設業様式”**
- フォーサイト・ドクター
10 **現場での感染症対策**
- あなたのまちの建設スペシャリスト
11 **仙建協会員企業MAP**
- 会員の現場紹介
13 **“温泉と食”融合の複合施設「アクアイグニス仙台」**
- 座談会
14 **仙台市工業高校在学学生 & 仙建協会員同校OB**
- 17 **仙建協だより**

(一社) 仙台建設業協会 会員会社

【青葉区】

熱海建設(株)
(株)熱海工務店
(株)熱海店
(株)阿部和工務店
阿部建設(株)
(株)石井組
遠藤建業(株)
奥田建設(株)
金福建設(株)
(株)小松建設
庄子建業(株)
(株)鈴木建設
仙建工業(株)
千田建設(株)
東北共栄建設(株)
(株)東北ロンテック
銅谷建設(株)
日建工業(株)

【青葉区】

(株)橋本店
東日本コンクリート(株)
(株)広瀬組
(株)深松組
宮環建設(株)
山川建設(株)
ワーカー工業(株)

【泉区】

赤坂建設(株)
(株)泉工務店
海道建設(株)
(株)さとう総業
東北グレーダー(株)
中田建設工業(株)
(株)梶田組
丸武建設(株)
(株)三浦組

【宮城野区】

栄喜工業(株)
奥山工業(株)
(株)鎌田建設
後藤工業(株)
伸和興業(株)
仙台アスコン(株)
仙台土木建築工業(株)
(株)高工
鷹背建設(株)
(株)丹勝
中城建設(株)
長谷川建設(株)
(株)丸鹿
(株)湯目建設
(株)渡邊舗装工業

【若林区】

遠藤工業(株)
遠藤吉照土建(株)
皆成建設(株)
(株)加賀
木皿建設(株)
栗村建設興業(株)
サイト工業(株)
(株)佐元工務店
仙舗建設(株)
(株)丹秀工務店
(株)千葉建設
東北ニチレキ工事(株)
日道建設(株)
ヤマトワーク(有)
若葉建設(株)

【太白区】

(株)阿部砂利建設
河北建設(株)
(株)柴田建設工業
(株)ショウエー
通信道路(株)
(株)東北リアライズ
(株)永岡
(株)日啓工業
(株)丸三建設興業
(株)三浦勇工務店
山辰建設(株)
陽光建設(株)

【黒川郡大和町】

大和建設(株)
八嶋建設(株)
(株)吉田工務店

【黒川郡大衡村】

(株)松川土木

がんばろう東北! がんばろう仙台!

仙建協は、仙台の復興に全力で挑みます。

大震災から10年

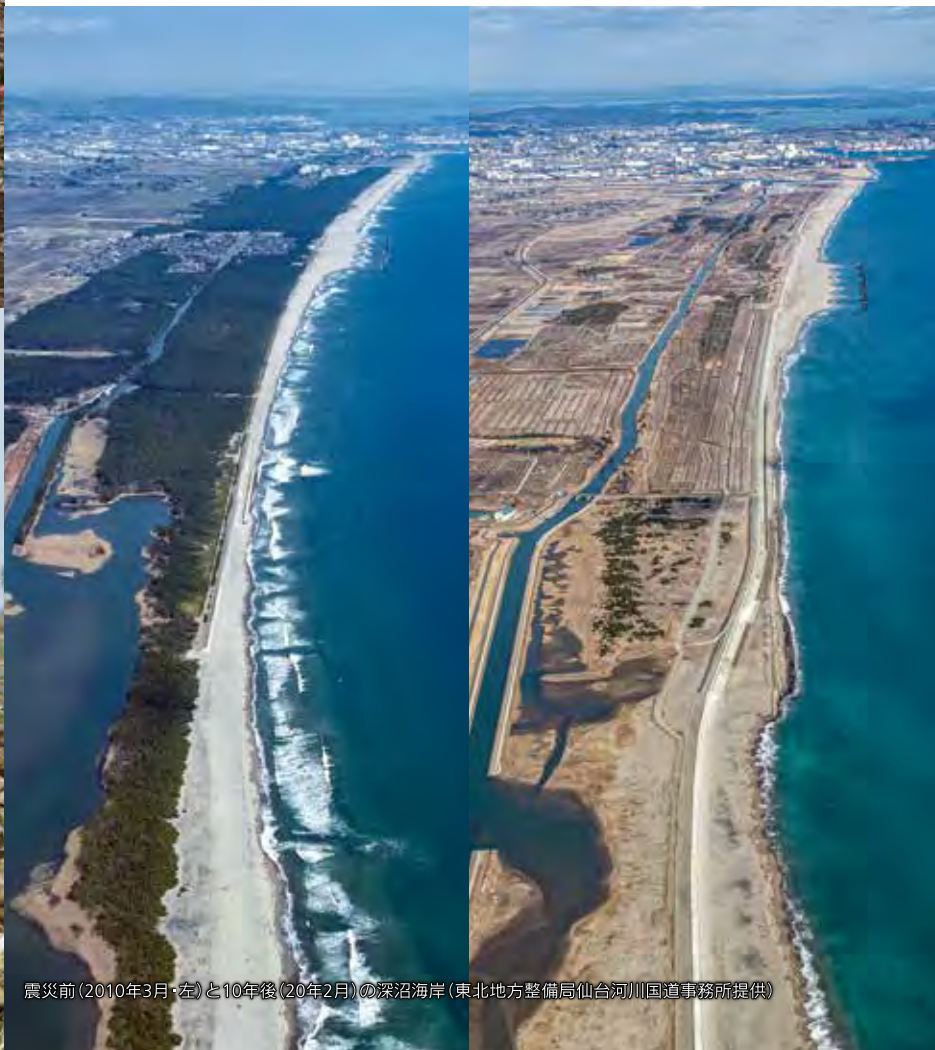
会員企業の激闘の記録と 復興の軌跡を振り返る

観測史上最大の規模の地震で東北を襲い、巨大な津波によって多くの犠牲を出した東日本大震災の発災からまもなく10年目。仙台市は復旧・復興が進み、震災を乗り越えた防災環境都市としての歩みを進めています。

仙台建設業協会（以下、仙建協）は、発災直後の道路啓開や、震災がれきの処理、農地の復旧など、復旧・復興に尽力してきました。

そして、震災の経験を基に次の災害へ対策を強化するなど、震災の経験を踏まえて、これからの地域の守り手としての役割を果たしていくための取り組みを進めています。

今回は震災から10年を迎えるに当たり、地震直後の対応と復興の軌跡、そして仙台市の復興の取り組みを振り返るとともに、将来を見据えた地域建設業の活動を紹介していきます。



震災前（2010年3月・左）と10年後（2020年2月）の深沼海岸（東北地方整備局仙台河川国道事務所提供）



2011年3月31日蒲生荒浜地区



巻頭特集

2011年3月11日に発生し、最大震度7、マグニチュード9.0という観測史上最大の規模の地震で、東日本各地に甚大な被害をもたらした東日本大震災。仙台市でも2万9469棟の建物が全壊した上、沿岸部を襲った最大7.2メートルの巨大津波によって、約3226軒が浸水。若林区の56軒、宮城野区の35軒に当たる面積が被害を受け、家屋も8110世帯が浸水するなど、大きな損害が生じました。また、仙台市内の丘陵部でも、昭和30～40年代に造成された住宅地でも地すべりや地盤の崩壊、擁壁の損壊など、広範囲にわたって甚大な被害が発生しました。

迅速な復旧に向けた 建設業の奮闘

この想定外の事態に際し、仙建協では地震発生後、直ちに災害応急措置協力会本部を設置。停電に加え、通信手段も絶たれた中、青葉区内の数社が集合しました。仙建協は地域を守る役割を果たすため、1991年に仙台市と災害協定を結び、協力して訓練するなど、災害に備えていました。これに基づき、各区の会員企業も区役所と打ち合わせを行い、真っ先に道路啓開や行方不明者捜索のためのがれき撤去に尽力しました。巨大な災害が発生した際に、自衛隊や警察が現地で活躍する姿をテレビなどで目にすることはあるかもしれませんが

が、現地に行くための道路の確保などで、真っ先に被災地に向かうのが、実は建設業なのです。

4月中旬から、沿岸部では会員51社が4班に分かれて、家屋の解体やがれきの撤去を組織的に実施。5月には市内全域を対象とした損壊家屋等解体撤去隊が会員40社により編成されました。約1800軒が浸水した農地についても、7月から5工区に分かれて会員54社が作業に当たりました。

震災で発生した仙台市内のがれきは272万トに及びます。これは、仙台市全体から出る通常ゴミ処理量の約4年分に相当します。仙台市は、11年4月にながれき処理の方針をいち早く策定。「発災から1年以内の撤去、3年以内の処理完了」を目標に掲げました。その目標を実現させるための処理体制は後に「仙台方式」と呼ばれています。

仙台方式では、仙台市が事業方針や作業の進捗状況を管理。仙建協と宮城県解体工事業協同組合が、がれき・損壊家屋等の分別と撤去を行い、さらに宮城県産業廃棄物協会仙台支部（現・宮城県産業資源循環協会仙台支部）ががれきを細かく分別してリサイクルするなど、官民がそれぞれの役割に応じて、緊密に連携しながら作業しました。これにより、迅速ながれき処理を仙台市内だけで完結させることができました。こうした建設業の活躍もあり、11年度内にがれきの撤去は完了。焼却などの全ての

処理も13年度までに完了しました。がれきを丁寧に分別し、リサイクル率72％を達成したことも仙台方式の大きな特徴です。後にこの仙台方式は、先進的な取り組みとして、15年3月に仙台市で開かれた国連防災世界会議において発信されました。

震災を乗り越えた 防災環境都市へ

仙台市は、被災した住宅、道路、農地などの復旧・復興を集中的に進めるため、11年11月に、15年度までの5年間を期間とする震災復興計画を策定しました。さらに、震災によってまちがさまざまな災害の脅威にさらされていることをあらためて認識したため、将来の災害や温暖化による気候変動にも備えた「しなやかで強靱な都市」を目指し、防災環境都市づくりを進めることにしました。復興を推進するとともに、市民の日常を支えるインフラを適切に整備したり、震災で得た教訓を基にしたまちづくりを進めたりと、仙台を安全・安心で持続可能なまちにすることが狙いです。

具体的には、生活再建に向けた復興公営住宅の建設、集団移転用地の造成などを集中的に実施。津波による甚大な被害を受けた東部地域は、住宅の建設を禁止し、「防災集団移転促進事業」として居住していた住民の住まいを内陸部へ移転しました。津波で被災した沿岸部一帯には、津波か

対策本部会議（仙建協会長室）





農地がれき撤去(深松組)

農地がれき撤去(熱海建設)

災害





海岸線と並行するかさ上げ道路と平面交差する避難道路(仙台市提供)



河合正広 会長(当時)
に聞く

平時の備えが 復旧に奏功

発災直前に仙台市と災害訓練を実施していたことが、大いに役立ったと思います。仙台市とは災害協定を締結しており、協会でも連絡網は整えていましたが、実際にどれだけ機能するのかなどを確認しておく必要があると考えたからです。震災の前年(2010年)9月、当誌上で奥山恵美子市長(当時)と対談した折にその意向を伝え、12月に若林区役所と具体的な訓練を実施しオーダーと対応一連の動きを確認しました。後日、反省会を行い、毎年各区と持ち回りで訓練を継続しようと話し合っていたところで大震災が起きました。連絡手段など反省点が多々残ったことは事実ですが、組織立って動くことができたのは事前の取り組みがあったからこそで、ありきたりですが平時の備えが大切と痛感します。

また「仙台方式」と呼ばれたがれき処分については、協会会員の力量を見極め人命くださった仙台市の英断に感謝しています。双方で事業スキームを構築し窓口を環境局に一本化したことが奏功して撤去～運搬～処理が予想以上のスピードで機能しました。支払い単価も早期に決定してくれました。国の予算措置が不確かな段階だったので本音は心配で、市に相談した際「約束は守る。その代わりしっかり分別処理してほしい」と勇気づけられたものです。そのおかげで地元の力で迅速かつ的確にやり遂げたという自負が、いまでもあります。

ら一時的に避難するための津波避難タワーをはじめとする避難施設13カ所を設置。さらに津波防災対応として、若林区藤塚から宮城野区蒲生までの10・2キロの区間で東部復興道路(かさ上げ道路)を整備しました。海岸や河川の堤防に加えて、高さ約6メートルの東部復興道路が内陸部への浸水を防ぐ「多重防御」の役割を担います。

これらの復興事業に、全ての仙建協会員企業は携わりました。仙台市の復興は順調に進み、3206戸を整備する復興公営住宅は2016年度に建設が完了。東部地域の集団移転跡地は新たな土地利用方法を検討した結果、成長産業の集積、農地の集約・高度利用化と6次産業化の促進、スポーツ・レクリエーション施設の再整備と、3つのゾーンを設定して整備することに決定。仙台市の「新たな魅力」を生み出す場として、今後の開発に期待が寄せられています。また、丘陵地でも宅地崩落が起きた折立地区の復旧が15年3月に完了するなど、着々と復旧が進みました。14年度から整備を開始した津波避難施設

は、17年度には全てが完成するなど、復興とともに次の災害に備えた防災体制が進展しました。

東部復興道路は、19年10月に記録的な豪雨と暴風をもたらした台風19号による被害を乗り越え、11月30日に開通。これにより、震災時と同じ規模の津波が発生しても、道路より都市側の波の高さは家屋の流出を免れるとされる2メートルまで抑えることが可能になりました。

こうしたインフラの復旧と再整備、防災・減災のための施設、そして新たな賑わいの創出に欠かせない事業に、多くの仙建協の会員企業が尽力しました。

震災の経験を基に、 次の災害に備える

東日本大震災以降も熊本地震や胆振地震などの巨大地震のほか、関東・東北豪雨、東日本台風といった豪雨災害も日本各地を襲いました。災害の頻発化・激甚化によって、日本はまたいつどこでどのような災害

が起きてても不思議ではない状況にあります。こうした中で、仙建協は東日本大震災の経験を、今後の備えに役立てるために、さまざまな取り組みを展開してきました。

15年9月には、膨大ながれき処理に尽力した仙建協、宮城県解体工事業協同組合、宮城県産業資源循環協会仙台支部の3団

体が、当時の教訓を踏まえ、互いに情報共



中野5丁目のタワー型避難施設

有しながら仙台市と緊密に連携するため、全国でも珍しい民間団体同士の相互協力協定を締結。各団体が人命捜索、道路啓開、がれき処理、被災家屋の解体などでそれぞれが得意な分野を生かして協力する体制を整えました。

17年4月には3団体の震災時の教訓を1冊にまとめた『役に立つ! Q & A 災害廃棄物処理の初動期活動〜東日本大震災の実体験から〜』を発刊。仙台方式などで得た教訓を広く発信し、他地域で大規模災害が起きた際に、参考としてもらうことが狙いです。18年4月には3団体に仙台市が加わり、災害廃棄物処理の協力協定を締結しました。

そして18年9月には、静岡県浜松市の浜松建設業協会と災害が起きた際は要請の有無を問わず、互いに現地に駆け付けけるとした「災害時の相互援助協定」を結びました。南海トラフ地震の発生が懸念される浜松と、再び宮城県沖地震が起きる恐れがある仙台それぞれの建設業団体同士がこうした協定を結ぶことで、次に地震が起きたときは素早く対応することができそうです。

19年7月にはこちらも全国初の試みとして、ビジネスホテルの運営などを手掛ける松月産業と「災害時における復旧作業援



冊子「災害廃棄物処理」の表紙

助者の宿泊に関する覚書」を締結しました。これにより、災害時に駆け付けてくれた浜松建設協会に迅速かつ確実に宿泊施設を提供することが可能になり、受け入れ体制が整ったこととなります。

21年3月で震災から丸10年。仙台市は、21年度から30年度までのまちづくりの指針となる新しい総合計画の策定を進めています。この中には目指すべき都市の姿として「災害対応力を備え、国内外の防災力の向上に貢献できるまちづくり」との目標が盛り込まれています。震災という不幸な経験の中で得た教訓を基に、防災・減災の視点を取り入れた都市像を目指しながら、得られた知見を他地域にも発信していこうという考え方です。

仙台市が掲げる理想を実現し、市民を守るためにも、仙建協と会員企業は、これからも社会インフラ整備を通じて住みやすい環境づくりに取り組むとともに、次の災害への備えを盤石なものとするため、これからもまい進していきます。

菅原澄雄 専務理事(当時)に聞く

連絡手段寸断も初動対応に奔走

大きな揺れの後、仙台市からどのような要請がくるだろうか、どう会員企業に連絡をとれば良いだろうかということが頭の中を駆け巡りました。昇降式駐車場にある車は停電で使えなかったため、ハイブリッドのレンタカーを借りてテレビをつけ、仙台市の対策本部に出向いたりして情報収集に当たりました。連絡手段がないため、徒歩で近くの役員企業などを回り、翌日に事務局に集合してもらうよう呼び掛けて、集まった数社の人達で対策本部をスタートさせることができました。

震災発生の3カ月前に、若林区と災害協定に基づく訓練を行っていたことは本当に功を奏したと思います。地震当日から、各区の作業隊は緊急的な応急対応に当たっていました。一方、仙建協の本部には仙台市からの要請が次々と来るようになり、対応できる会員企業を探して割り振りしました。その後、組織として行方不明者捜索のための道路啓開に動き、がれき撤去、損壊家屋の解体といった復旧作業へ、仙台の復興へ向けた長い闘いが続くことになります。

当時を振り返りますと、協定に基づく市の担当窓口が建設関係部局に一本化され、防災無線などのホットラインでつながることができていれば、初動はもっとスムーズだったかもしれないという思いがあります。

震災から10年を迎え、市との連携や情報交換が格段に進んでいると伺っております。協会と会員皆さまの一層のご活躍をお祈りしております。



仙建協、浜松建協協定(中村会長・左と深松会長)

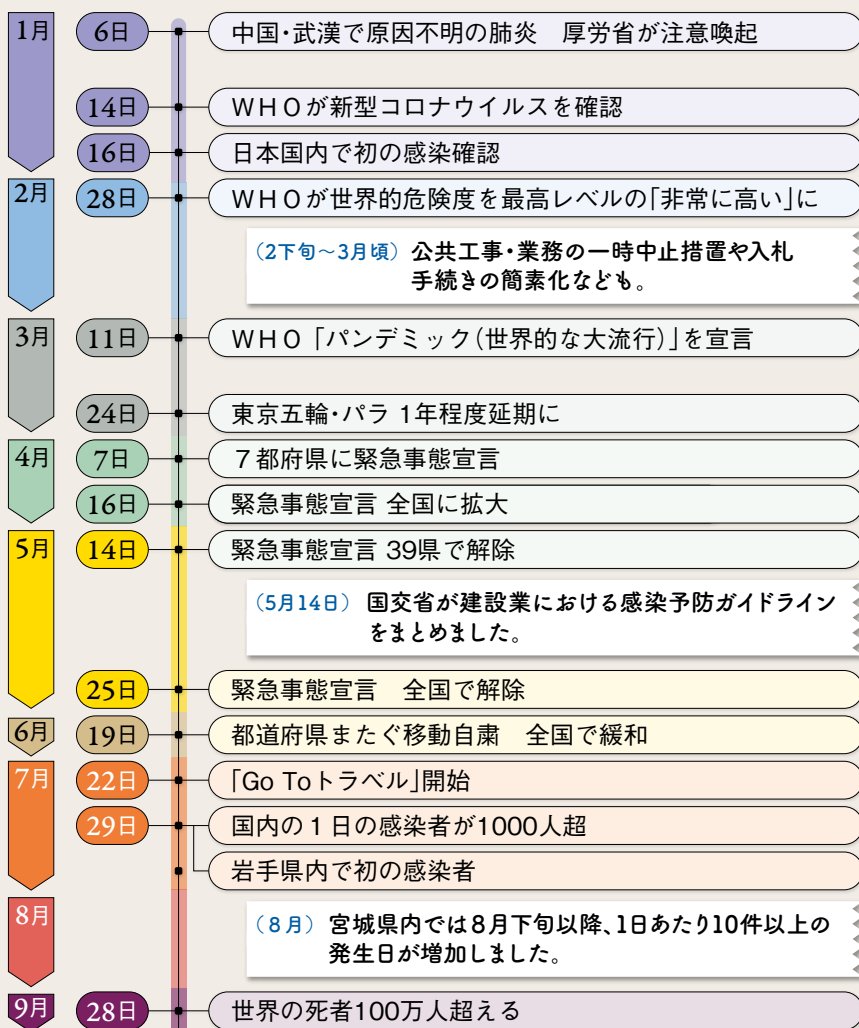


松月産業との覚書締結式

新型コロナウイルス感染拡大 をめぐりこれまでの動き

宮城県内の
感染者数 **726人**
(10月末現在)

2020年



マスクが一気に品薄に

レジャーは近場、キャンプなどの外遊びが人気

外食はテイクアウトが増え、大皿料理の取り分けが避けられるように。



企画特集 新型コロナウイルス感染拡大 職場や現場で求められる 新しい建設業様式

2020年、新型コロナウイルス感染症が世界中で猛威を振るっています。日本では感染者の急増に伴い4月に緊急事態宣言が発令され、外出自粛要請などで社会経済活動全般に大きな影響が出ました。緊急事態宣言は5月

に解除となりましたが、引き続きマスクの着用や3密の回避など、感染拡大の防止へ向けた「新しい生活様式」への対応が求められています。

建設業界でも、建設現場、職場のそれぞれで感染防止対策が不可欠となっています。収束が見通せないコロナ禍をどう生きるのか。地域建設業は新たな課題に向き合っています。

仙台建設業協会のこの一年

年間行事が軒並み中止に

仙建協の事務局では、マスク着用、消毒、定期的な換気を実施しています。感染リスク低減のため、緊急事態宣言下では2班に分かれ時差出勤を取り入れました。

年間行事にも影響が出ています。毎年5月に開催していた定時総会は書面決議で行い、懇親会を取りやめました。また、外出自粛要請が出ていたこともあり、春の広瀬川流域の清掃活動も中止に。



マスク着用し安全パトロール



事務局も扉を開けて換気を徹底

会議関係は出席者を限定したり、時間を短縮したりしているほか、安全パトロールでは現場事務所内で行う書類関係のチェックをなくし、現場内の点検のみにとどめるなどの工夫をして実施しています。

ゴルフ大会やボウリング大会といった親睦を深める行事も、本年度は中止を余儀なくされました。11年ぶりの復活へ向けて練習が本格化していた仙建協祭連の仙台すずめ踊りも、仙台青葉まつりが中止となり、再デビューが持ち越しになっています。

コロナ禍での災害対応など新たな課題も

コロナ禍では、県をまたぐ移動が伴う会議等の開催も問題となりました。静岡県浜松建設業協会と結んだ災害時の相互援助協定に基づき、具体的な援助体制を詰めるための会議と視察を予定していましたが、浜松市への訪問は延期しています。災害はいつ起こるか分からないだけに、体制構築を急ぎたい考えです。仙台



行事も3密の回避が求められている



災害時合同訓練

市各区との災害時合同訓練においても、今後はコロナ禍での災害対応の在り方を考えていくことにしています。

また、毎年受け入れに協力していた仙台市立仙台工業高等学校の現場実習も中止となりました。学生や子供たちの感染対策に配慮しながら、建設業の魅力を発信する機会をどう提供していくかが今後の検討課題になりそうです。



郡市長に目録を手渡す深松会長(右)

仙台市に200万円寄付

仙建協は5月20日、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を支援するため、仙台市に200万円を寄付しました。深松努会長らが市役所を訪問し、郡和子市長に目録を手渡しました。

市民の日常生活を一刻も早く取り戻すために役立ててほしいと、本年度、中止になった総会・懇親会費用を寄付金に充てました。

深松会長は「建設業に限らず困っている人たちに活用してほしいと思います。今後ともわれわれのできることを行っていきます」と話しました。

コロナ禍で変わる仕事のやり方

【拝見!】会員各社のコロナ対策

 **東北ニチレキ工事(株)**



オンライン会議の様子

オンライン会議を 本格導入

東北ニチレキ工事がコロナ禍で挑戦した新たな試みは、オンライン会議の積極活用です。本社と県内、他県の支店・営業所を結ぶ会議などは、Zoomを使ったオンラインによる会議に切り替えて実施しています。オンラインによる会議はコロナ禍となる以前から導入しておりましたが、新型コロナ感染拡大防止の観点から本格的に活用するようになったということです。特に、県外からの往来をなくすことや会議中の密を回避することで、感染防止を図っています。社員からは「会議場所への移動時間がなく、効率的で良い」という声が挙がっているそうです。

今後は新型コロナ感染症の収束状況によって、重要な会議などは開催の可否や実施回数を検討することになっています。一方、継続が可能なものはオンラインで会議を行う方針です。

須藤孝浩代表取締役は、「新型コロナ対策は、慣習や既成概念を見直すことや、新しい仕事のツールを活用するきっかけにもなりました。業務効率化やコスト削減につながる取り組みは今後も続けていきたいですね。建設業は働き方改革への対応も迫られていますので、新しいビジネスモデルを確立し、課題解決につなげていければ良いと思います」と話しています。

 **中城建設(株)**



現場内も感染症対策徹底

フェーズごとの業務体制 明確化

中城建設では、自社独自の「コロナウイルス感染防止対策と方針」をいち早く作成し、感染拡大の各段階における業務体制を明確にしました。この初動には、「過去にBCP作成に携わった経験が生きたと思います」と結城創代表取締役は話します。感染拡大の各フェーズに対応する行動一覧を社員に知らせておくことで、混乱の回避に役立てました。緊急事態宣言時はこのマニュアルに基づいてリモートワークを取り入れ、事前に決めていた班ごとの業務体制にスムーズに移行できたということです。公共交通機関を使って出勤している社員はマイカー・社用車での通勤に切り替えるなど、感染機会の回避に努めました。

また、暑い時期の現場はマスクの着用で熱中症になる危険が一層高まります。密集を避けるために6月の安全大会をリモート方式で開催する試みも行い、Zoomを使ってコロナ対策と熱中症対策の両立を呼び掛けました。

建築工事では、特に内装仕上げなど室内の作業時に、換気をはじめとした感染症対策をどう講じていくかが大きな課題になります。同じフロアに作業員が密集しないよう、工程を細分化するといった工夫を考えていく必要があるということです。結城代表取締役は「コロナ対策に応用できるツールは積極的に活用していきたいです。コロナを機とした変化への対応力、順応力が求められてくる時代になると思います」と話してくれました。

 **三浦組(株)**



安全研修は席の配置を工夫

見えない敵に挑む

「見えない敵と戦うという不安やプレッシャーがありますね」。まずは社員、協力会社の健康をどう守っていくか。世界規模で広がる感染症への対策は前例がないだけに、「何をどこまですれば良いという正解がなく、まさに手探りでした」と三浦修代表取締役社長は振り返ります。

まず、マスクや体温計といった衛生用品を揃え、消毒・手洗い、毎日の検温を徹底。感染症対策として日々更新される国の指針などは分かりやすく情報を整理し、自社HPの社員向けのページにアップして周知を図っています。他社の取り組みなども参考にしながら、今後も自社に合った対策を取り入れていくことにしています。

現場では、移動、食事、朝礼、ミーティングの際に密になりやすいため、十分な間隔を取るなど工夫しています。公表されている対策事例なども参考に、アイデアを出し合っているそうです。

コロナ対策と並行して、安全対策もおろそかにはできません。参加人数を縮小して安全研修を開き、対策の徹底を呼び掛けました。開催に当たっては参加者の間隔を広く保ち、休憩の回数を増やすなど、3密回避に努めました。今後は、安全大会を実施しない代わりに、社長が現場に出向いて安全対策・感染症対策を呼び掛けることも視野に入れているということです。

建設現場での感染症対策 （新型コロナウイルスやインフルエンザ などを予防するために）

新型コロナウイルスが発生して、およそ1年が経とうとしています。世界でもパンデミックの状況が続き、なかなか終息の兆しは見えません。日本では、医療的な問題だけではなく経済にも大きな影響を及ぼしています。これから本格的な冬を迎えるにあたり、インフルエンザとの同時流行が懸念され、引き続き感染症への対策は行う必要があります。

屋外でも感染対策を徹底

「建設現場は屋外だから」と、感染対策が疎かになってはいけません。マスクの着用やこまめな手指消毒、三密の回避は感染対策の基本として徹底しましょう。

朝礼、会議では三密を回避

新型コロナウイルスが発生すること、特に発言者は飛沫を防ぐために確実にマスクなどを着用することが重要です。会議は、可能であればオンライン形式で行うこともリスクを低下させることにつながります。オンライン会議には遠方の参加者も容易に参加できるメリットもあります。朝礼では、発熱の有無など個々の体調確認を徹底すべきでしょう。

建設現場の事務所は、スペースが限られており密になりやすいため注意が必要です。全員がマスクなどを着用し、定期的な換気を行うことが重要になります。向かい合う席の間にアクリル板などを設置して対応する事業所もあります。アルコールを設置してこまめな手指消毒も行いましょう。

食堂や喫煙場所は三密になりやすく、マスクを外して談笑する光景も見受けられます。喫煙場所では、人数を制限し飲食や談笑することを禁止するなど、検討しましょう。食堂では座る場所を工夫する、会話する際はマスクを着用するなど油断しないように心掛けましょう。

職種によっては複数の職場を行き来する方もいると思います。このような方は多くの人と接するため感染するリスク、感染させるリスクが高いことを意識しなければなりません。プライベートでもできるだけ感染しないように注意する、毎日の行動を記録する、体調管理に十分注意する、など、一層の感染対策を行いましょう。

生活習慣見直し重症化リスクを低減

これから冬に向けて、インフルエンザと新型コロナウイルス感染症の同時流行が懸念されています。発熱など体調

不良の際には電話で受診の可否の確認を行ってから医療機関を受診しましょう。また、インフルエンザワクチンの接種もできるだけ行うようにして下さい。

新型コロナウイルスはどんなに予防しても、完全に感染を防ぐのは難しいと言われています。重症化のリスクは数%程度と言われていますが、高血圧や高脂血症、糖尿病などの生活習慣病のほか、喫煙や肥満がリスク因子と言われています。感染予防の生活の中で自分の生活習慣を見直し、重症化のリスクを少しでも減らすことも必要なことです。

清治邦章

（せいじくにあき）

ひかりクリニック院長

■経歴

1999年 産業医科大学医学部卒業
2001年 総合せき損センター 内科医
2003年 JRR東日本仙台支社 産業医
などを経て現在

■所属学会

日本産業衛生学会
宮城産業保健総合支援センター
仙台市医師会
仙台地域産業保健センター

FORESIGHT DOCTOR





(一社) 仙台建設業協会 青葉区支倉町2-48(宮城県建設産業会館2階) 265-7094

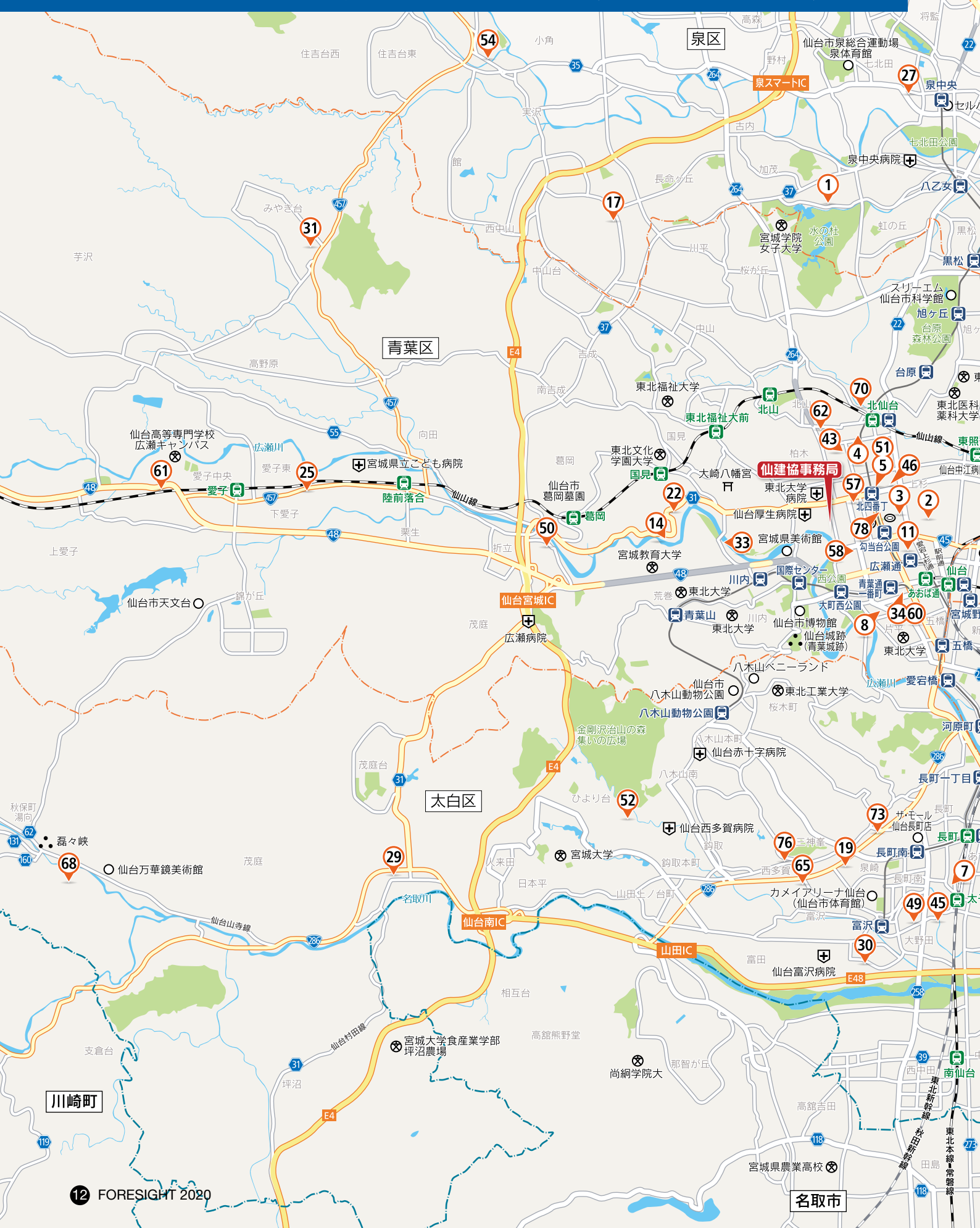
番号	会社名	住所	電話番号
1	赤坂建設(株)	泉区上谷刈字赤坂9-2	372-5111
2	熱海建設(株)	青葉区錦町一丁目1-31	263-1671
3	熱海工務店	青葉区本町三丁目6-17	398-7868
4	熱海店	青葉区通町二丁目5-4	233-2074
5	阿部工務店	青葉区上杉一丁目17-18(第5鋼谷ビル)	264-0411
6	阿部建設(株)	青葉区中江二丁目23-20	223-8115
7	阿部砂利建設	太白区長町六丁目11-14	248-4231
8	石井組	青葉区一番町一丁目16-1	221-2421
9	泉工務店	泉区八乙女中央四丁目8-16	373-4865
10	栄喜工業(株)	宮城野区燕沢東一丁目1-10	252-2581
11	遠藤建設(株)	青葉区本町二丁目7-13	222-6668
12	遠藤工業(株)	若林区荒井二丁目6-3	390-1850
13	遠藤吉照土建	若林区大和町二丁目1-20	238-0886
14	奥田建設(株)	青葉区八幡六丁目9-1	275-2311
15	奥山工業(株)	宮城野区二の森10-10	291-6827
16	皆成建設(株)	若林区六丁の目元町2-11	286-4821
17	海道建設(株)	泉区南中山二丁目24-10	376-8188
18	加賀	若林区鶴代町3-19	235-3911
19	河北建設(株)	太白区泉崎二丁目23-41	245-5351
20	鎌田建設	宮城野区田子字権八160	258-8677
21	木皿建設(株)	若林区六丁の目南町7-15	288-5033
22	金福建設(株)	青葉区八幡六丁目7-34	234-0519
23	栗村建設興業(株)	若林区上飯田四丁目17-44	289-1821
24	後藤工業(株)	宮城野区扇町四丁目6-4	284-9069
25	小松建設	青葉区下愛子字二本松13	392-2209
26	サイト工業(株)	若林区卸町二丁目6-11	355-8123
27	さとう総業	泉区七北田字朴木沢93-1	374-1181
28	佐元工務店	若林区遠見塚二丁目27-9	286-2652
29	柴田建設工業	太白区茂庭字町北21-1	748-4401
30	ショウエー	太白区富沢南二丁目17-13	393-7123
31	庄子建設(株)	青葉区みやぎ台一丁目9-7	391-3461
32	伸和興業(株)	宮城野区日の出町二丁目4-8	237-7363
33	鈴木建設	青葉区川内三十人町51	223-7783
34	仙建工業(株)	青葉区一番町二丁目2-13	225-8511
35	仙台アスコ(株)	宮城野区扇町六丁目2-21	258-1128
36	仙台北木建築工業(株)	宮城野区小田原一丁目5-12	293-4351
37	仙鋪建設(株)	若林区荒井七丁目50-2-8	766-9581
38	大和建設(株)	黒川郡大和町吉岡字天皇寺184-22	345-2325
39	高工	宮城野区宮城野一丁目28-1	297-3344
40	鷹鷹建設(株)	宮城野区原町四丁目6-2	257-5331
41	丹勝	宮城野区日の出町三丁目3-32	235-0333
42	丹秀工務店	若林区保寿院前丁6-10	286-8335
43	千田建設(株)	青葉区通町一丁目3-11	234-1221
44	千葉建設	若林区遠見塚東14-24	286-9241
45	通信道路(株)	太白区大野田二丁目2-27	304-3288
46	東北共栄建設(株)	青葉区上杉二丁目2-47	224-2137
47	東北グレーダー(株)	泉区松森字中道81	372-2415
48	東北ニチレキ工事(株)	若林区沖野四丁目3-15	285-1511
49	東北リアライズ	太白区大野田五丁目20-7	226-7630
50	鋼東北ロケット	青葉区折立一丁目14-15	262-0351
51	鋼谷建設(株)	青葉区上杉一丁目17-18(第5鋼谷ビル)	226-5568
52	永岡	太白区ひより台10-16	743-4555
53	中城建設(株)	宮城野区幸町二丁目23-1	297-1611
54	日建建設工業(株)	泉区小角字大明神5-1	348-2348
55	中道建設(株)	若林区卸町東五丁目3-22	288-8898
56	日啓工業(株)	太白区中田町字後河原20-3	241-2191
57	日建工業(株)	青葉区二丁目16-9	221-4576
58	橋本	青葉区立町27-21	714-7020
59	長谷川建設(株)	宮城野区新田一丁目16-14	284-0168
60	東日本コンクリート(株)	青葉区一番町二丁目2-13(仙建ビル5階)	225-4421
61	広瀬組	青葉区上愛子字雷神3-14	392-4620
62	深松組	青葉区北山一丁目2-15	271-9211
63	樹田組	泉区将監殿一丁目6-2	372-5871
64	松川土木	黒川郡大和町大衛字河原51-1	345-0529
65	丸三建設興業(株)	太白区西多賀二丁目6-45	796-3778
66	丸鹿	宮城野区扇町五丁目8-8	235-1171
67	丸武建設(株)	泉区松森字新田19-3	373-8221
68	三浦勇工務店	太白区秋保町湯元字石名坂1-4	247-2450
69	三浦組	泉区七北田字東裏118-1	372-5511
70	宮環建設(株)	青葉区葉山町1-25-201	274-2281
71	八嶋建設(株)	黒川郡大和町鶴巻北目大崎寺東11-1	343-2206
72	山川建設(株)	青葉区福沢町9-13	222-3521
73	山辰建設(株)	太白区砂押南町1-2	248-3341
74	ヤマトワーク(有)	若林区二木字山王3-2	352-0398
75	湯目建設(株)	宮城野区萩町一丁目15-7	232-0510
76	陽光建設(株)	太白区西多賀三丁目8-10	307-1066
77	光田工務店	黒川郡大和町宮床字新小路61	346-2257
78	ワーカー工業(株)	青葉区上杉一丁目5-13-5階	263-3852
79	若葉建設(株)	若林区卸町東五丁目2-23	288-8671
80	河渡舗装工業	宮城野区福室七丁目4-21	258-1342

賛助会員

杜の都建設協同組合	青葉区支倉町2-48(宮城県建設産業会館5階)	395-4344
-----------	-------------------------	----------

仙建協会員企業MAP あなたのまちの建設スペシャリスト

建物アドバイス、河川・道路異常、がけ崩壊の危険etc.お気軽に近くの仙建協会員にご相談ください。



会員の現場紹介

復興・創生のシンボルとなる 温泉と食融合の複合施設

工事名Ⅱアクアイグニス仙台新築工事
施工者Ⅱ深松組、阿部和工務店・中城建設JV

東日本大震災の津波で大きな被害を受けた仙台市若林区藤塚地区。その防災集団移転跡地に建設しているのが、今回紹介する「温泉と食」を融合した複合施設の「アクアイグニス仙台」です。

アクアイグニス仙台は、仙建協会員でもある深松組の関連企業・仙台reborn

と、西日本を中心に複合温泉リゾート施設を展開するアクアイグニスが共同で

計画したもの。名取川河口部の北側に位置する敷地

約3万2500㎡内に、地下1000㍎の大深度

から湧出する天然温泉を利用した温泉施設やイタリア

ンレストラン、スイーツカフェ、ベーカリー、マルシェ

などを設けます。

アクアイグニス仙台のキーワードは、「藤塚の文化・

自然環境を五感で味わいやすく、ネイチャーゾーンの

中核施設。そのため、レストランなどではパティシエの辻口博啓さん、日本料理の笠原将弘さん、イタリア

のたため、レストランなどではパティシエの辻口博啓さん、日本料理の笠原将弘さん、イタリア



起工式の様子(右・深松社長、中・郡仙台市長)



アクアイグニス仙台の完成予想図(全景)



阿部和工務店・岩佐所長



深松組・佐浦所長



深松組・石母田所長

の奥田政行さんなど世界的に著名な料理人による、地元食材を生かした料理を提供します。また、温泉施設は高さが15㍎あり、津波発生時には避難施設の役割も果たします。

工事は、2020年1月から温泉掘削がスタート。その後、4月中旬に造成工事が始まり、20年9月末までに完了しました。造成工事を担当した深松組の石母田知己所長によると、ことは特に雨が多くの工程管理には特に気を配ったとのこと。「土を盛るという工事の特性から、雨が降ると場合によっては工事が2〜3日ストップするケースもありました」と振り返ります。

その後、10月14日には施設新築工事の起工式が行われ、いよいよ本格的な工事がスタート。

式には、仙台rebornの深松努代表取締役をはじめとした関係者のほか仙台市の郡和子市長も駆けつけ、工事の無事安全を祈願しました。

新築工事の施工は、温泉施設を深松組、マルシェ棟ほか木造棟を杜の都建設協同組合員の阿部和工務店と中城建設によるJVが担当。現場を指揮する深松組の佐浦悟所長、阿部和工務店の岩佐信英所長とともに「互いに連携・協力しながら、無事故無災害で完成を目指したい」と意気込みを示しています。

グランドオープンは22年4月を予定。地域のにぎわいを取り戻す復興・創生のシンボルを目指します。

おしえて先輩

建設業界のコト

仙台工高在校生 & 仙建協会員同校OB

座談会

今回、フォーサイトでは昨年に引き続き、仙台市立仙台工業高等学校の在校生と同校の若手OBによる座談会を企画しました。参加したのは同校土木科と建築科の2年生4人で、まさに今後の進路を決める大きな岐路に立っている皆さん。一方、OBのお2人はともに社会人4年目で、ようやく社会人生活にも慣れてきたところ。生徒からは建設業界で働く上での心構えや準備すべきことなどのほか、世相を反映して新型コロナウイルスの影響などの質問があり、これに対しOBは経験を踏まえたアドバイスを送りました。



前列・左から早坂さんと横田さん
後列・左から石山さん、岩佐さん、佐藤さん、神谷さん

司会 初めに生徒の皆さんから、仙台工業に入った動機を含めて自己紹介をお願いします

岩佐 祖父が総合建設業を営んでおり、その姿を見習って未来に残るものの土台を作りたいという思いから土木科を選びました。進路希望はまだ決まってませんが、この座談会を通して選択肢を広げていければと思います。部活は山岳部です。

石山 中学のころ家族でタイに行ったんですが、その時にあらためて海外のインフラに比べて日本のインフラのクオリティの高さに感激を覚えたことがきっかけです。同じく進路は固まってませんが、ここで聞いたことを今後に生かして視野を広げていきたいです。部活はバレー部に所属しています。

佐藤 小学5年生の時に家を建て替える際に、建設業を営む祖父の友人に依頼しました。その時に現場を間近で見て、建築に興味を持ちました。進路希望は製図などの仕事に進みたいと考えています。部活はバドミントン部です。

神谷 入学した動機は、小学校のころに職業を調べる授業があり、それをきっかけに建築士の仕事に興味を持ちました。それ以来、建築に関わる仕事がしたいと思っています。卒業後は建設会社就職できたらと考えています。部活はサッカー部です。

司会 引き続きOBのお二人お願いします。自己紹介として経験年数や担当している仕事、建設業界に入ったきっかけなどをお願いします

早坂 土木科卒業で、経験年数はことしで4年目になります。現在の担当は、土木現場で監督の補助の仕事をしています。これまで、主に橋梁や道路、堤防などの現

横田 雄大 (よこた・ゆうだい)
(17年3月卒業) 深松組 (仙台市青葉区)



早坂 拓海 (はやさか・たくみ)
(17年3月卒業) 奥田建設 (仙台市青葉区)



場を経験しました。建設業界に進んだ理由は、小学校6年生の時に東日本大震災を経験し、特に祖父、祖母の塩釜市内で営んでいたお店が津波で大きな被害を受けました。その後、ものすごいスピードで復旧を進める建設業の技術の高さに感銘を受けて、自分も土木の世界で現場を任される人間になりたいと思い、建設業界を選びました。

横田 建築科卒業で、私も同じく4年目になります。現在の担当は、現場で行う朝礼の司会や工事写真の撮影と整理、当日の作業の段取りなどで、これまで共同住宅や倉庫、学校などの現場を経験しています。建設業界に入ったのは、私の父が同じく仙台市工建築科を卒業して建設会社で働いており、その姿を小さなころから見ていたので、建設業界(建築)で働くこと以外は考えていなかったのが正直なところです。在学中は硬式野球部でした。

司会 ここからは、生徒の皆さんが聞きたいこと、疑問に思っていることにOBの皆さんが答える形式で進めていきます

岩佐 就職する際に現在の会社を選んだ理由は?

早坂 土木の現場を監督する仕事がしたいというのが第一にある中で、地元企業で幅広く工事を行っている会社、地元に貢献する会社という点が何よりも大きいですね。

横田 一番のきっかけは3年時の就職試験前に行った応募前見学で、実際に今の会社を訪問したこと。そこで現場を案内していただき、移動中も建設会社の仕事についていろいろとアドバイスしてもらい、また、会社の雰囲気などが自分に合っていると感じ決めました。

石山 在学中に取得しておいたほうが良い資格はありますか?

早坂 現場監督を目指すのであれば、二級土木施工管理技士の資格が必要となります。試験は学科と実地に分かれており、実地は実務経験が必要ですが学科は在学中(17歳以上)に受験可能ですので取得しておいて損はありませんし就職にも有利になると思います。会社に入ると、なかなか勉強に時間を割くことも難しくなるので、在学中にチャレンジすることをお勧めします。

ますから、取得しておくとうれいですよ。

佐藤 新型コロナウイルスに関連して大変なことはありましたか。また、仕事のやり方とかは変わりましたか?

早坂 確かに現場の規模が大きくなるほど人が密集する可能性が高くなりますが、皆さんの日常生活と同様に極力密集を避けた人前ではマスク着用などのルールを決めて対応しています。また、毎朝の検温や健康チェックシートの記入も実施しているほか、自己管理を徹底するように要請しています。

横田 最大で約70人が働く現場も経験しましたが、同じように検温やチェックシートの記入を行うほか、密集を避けるため今までは全員が参加した朝礼を各業種の職長さんだけに限定し、職長さんから各作業員さんに必要事項を伝えてもらうよう工夫しました。

神谷 上司と部下と上下関係や職場の雰囲気などを詳しく教えてください

早坂 当社は若い社員から年配の方まで年齢が幅広く、私と同じ仙台工高のOBもいますので話しやすい環境だと思います。ま

た、私が経験した現場では県内だけでなく日本各地から作業員の方が集まるし熱心な方も多いので、さまざまな面で勉強になります。

横田 職場で何より大事なことは挨拶だと思います。いつも笑顔で挨拶していれば、年の離れた職人さんでも優しく接してくれますし、現場の雰囲気も明るくなります。ぜひ、自分から積極的に笑顔で挨拶してください。

司会 ありがとうございます。ここまでの話を踏まえて、さらに聞きたいことがあればお願いします

岩佐 入社してから困らないように身に付けておくことはありますか?

早坂 人をまとめる仕事ですので、コミュニケーション力は必要です。現場の雰囲気の良い悪いで作業効率にも影響が少なからずあります。そのためにも、先ほどの挨拶や分からないことは進んで聞くなど、積極的に自分から話しかける姿勢が重要だと思います。

横田 入社したての頃は分からないのが当たり前です。私も高校3年間建築の勉強をしましたが、初めての現場ではほとんど分かりませんでした。ですから、何も恥ずかしがらずに、コミュニケーション力を発揮して何でも聞くことが大切です。幸い、仙台工高では伝統として挨拶することが身につけているので非常に良いことだと思います。

石山 年上の方もまとめなければいけないということ、どのようにコミュニケーションを図りますか?

早坂 私の場合は高校時代に野球部だった



岩佐 一輝 (いわさき かずき)
(土木科2年)



佐藤 沙耶香 (さとう さやか)
(建築科2年)



石山 悠生 (いしやま ゆうせい)
(土木科2年)



神谷 将汰 (かみや しょうた)
(建築科2年)

ので、初めは野球の話題をきっかけに仲良くなるケースが多いですね。他にも、分からないことを質問すると、年配の職人さんも親切に教えてくれますので遠慮せずに聞くと良いです。

横田 私は、現場で分からないことはすぐに職人さんに聞くことを心掛けました。例えば作業の仕方や道具の使い方など何でもです。その後、休憩時間などに差し入れも持っていきながらアドバイスのお礼をするようにしました。そうすると、職人さんの方からも話しかけてもらうようになりコミュニケーションが深まりました。

佐藤 仕事で大変なことや、やりがいを感じたことは何ですか

早坂 先日、担当している松島町内の橋と道路の現場(松島町内)が開通を迎えました。この現場は国道45号という幹線道路で交通量も多いため、作業は日中に出発し、夜9時から朝6時の間に片側交互通行にしてやらざるを得ませんでした。おかげで、睡眠時間も十分に取れない期間もありましたが、無事に開通して一般車両が通行する場面を見たら、鳥肌が立つくらい大きな達成感がありました。この達成感が建設業の魅力だと思っています。

横田 初めは全部大変なんです、中でも工事の流れを覚えることです。ですから、最初の現場で建物の基礎から完成までの流れを出来るだけ把握するよう努力してください。また、やりがいですが自分が携わった建物が無事完成することもそうですが、例えば前の現場で失敗した経験を次の現場に生かして上手くいった時にも達成感を得ることが出来ます。ですから、小さなことでも自分で目標を決めて努力することだと思います。

佐藤 女性でも活躍できますか

横田 土木に比べて比較的建築は女性が活躍する姿をよく見ます。中には夫婦で働いている方もいました。現場でも、女性用のトイレや更衣室を準備するなど女性が働きやすい環境整備も進んでいます。

早坂 当社でも今年、建築系で女性社員が入社しましたし、女性がいる現場は整理整頓され現場の雰囲気も良くなるという話も聞きますので、どんどんチャレンジしてほしいです。

司会 いま建設業界では働き方改革が進んでいます、休日にに関してはいかがでしょうか

横田 建設現場はどうしても気象条件の影響を受けますし、工期は守らなければいけませんから休日出勤ということも確かにあります。ただ、当社では現場が終われば休日出勤した分は代休がありますので、年間を通せば休日数は一般と変わらないと思います。

司会 最後にOBの二人から後輩に向けたメッセージをお願いします

早坂 これから具体的な進路の検討が始まると思いますが、ぜひ、地元の建設会社就職して建設業界を盛り上げて欲しいですね。あと、先ほど話しましたが挨拶を忘れずに残り高校生活を楽しんでください。

横田 建設業はやりがいがあると言われるが、やりがいを得るには自分で考え行動することが大切です。残る高校生活の中で、そうした力を身に付けてほしいですね。

司会 ありがとうございます



仙建協だより

新型コロナウイルス受け 初めて書面開催

2020年度定時総会

仙台建設業協会は、書面表決による2020年度定時総会を開き、役員改選で深松会長を再任しました。20年度は、仙台市との災害訓練をより実践的な内容で実施するほか、浜松建設業協会との災害時の相互協定に基づき、浜松市で活動する作業部隊の体制構築などに取り組む方針を示しました。

事業計画には▽集団資源回収運動の実施▽協定に基づく災害応急措置協力会の活動推進▽高校生の現場実習や進路ガイダンスの支援事業などを盛り込みました。

加えて、宮城県共同募金会と協力し、赤い羽根共同募金会の募金箱を会員企業に設置することも報告しました。

このほか、役員改選では常任理事に佐々木宏明氏（橋本店代表取締役社長）、労務・安全管理委員長に千田隆志氏（千田建設代表取締役）をそれぞれ新任しました。

深松会長は書面で「安心・安全なまちづくりには、地元建設業の持続的な存続・発展と、担い手を確保・育成することが大きな柱になります。行政機関などと連携しながら持続的発展のため取り組んでいきます」とのメッセージを寄せました。

仙建協も活動に協力 広瀬川1万人プロジェクト

建設関係団体などが多数参加する「広瀬川1万人プロジェクト」の第29回一斉清掃が9月26日、仙台市と名取市の計17会場で行われました。仙台建設業協会が担当する千代大橋会場には、会員49社から91人が参加し、除草やごみ拾いに汗を流しました。

この活動は、春と秋に広瀬川流域で清掃や除草などを実施するもの。春は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止。ことし初めてとなる秋の活動は、各会場で参加人数を制限するなど、感染対



★事務局だより★

本年度も青田茂雄専務理事、小野麻子さん、鶴谷侑子さん、岩佐慎介さんの4人体制で日々の業務に当たっています。2020年度は、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、各所でその影響が現れました。仙建協でも春の広瀬川一万人プロジェクト中止や総会の書面開催など、これまで経験したことがない事務局運営を行ってきました。

このような中ですが、青田専務は「昨年度までと同様の運営をするため、創意工夫しながら業務に当たっています」と述べ、岩佐さんは「人が集まる会議などを開く時、感染対策を徹底し安心して参加できる環境づくりに努めていきたいです」と力を込めました。

また、小野さんは「会員さんが良い仕事ができるよう支えていきます」と話し、鶴谷さんも「会員さんと直接お会いすることは少ないですが、皆さんをサポートできるように頑張ります」と意気込みを語りました。



鶴谷さん、青田専務理事、小野さん、岩佐さん

仙台市内12施設を巡る 福祉施設に寄付金贈呈

仙台建設業協会は2月13日、社会福祉施設への寄付活動をこころも実施しました。

仙台建設業協会が担当する会場は、参加者を縮小して実施。深松努会長は「今回は除草を中心に行い、きれいな河川敷にのみがえらせましょう」と呼び掛けました。その後、参加者は河川敷の園路の除草などに尽力しました。

同協会環境福祉委員会と事務局のメンバーが仙台市内12カ所へ寄付金を届けて回りました。

この活動は、施設の運営などに役立ててもらうため企画しており、今回で27回目。寄付活動のうち同委員会の菅原博委員長と渡邊友紀委員長、仙建協事務局の青田茂雄専務理事は、仙台市太白区にある八木山つどいの家を訪問し、寄付金を手渡しました。

同施設では、障害者の生活介護事業に加えて喫茶店を営業しており、施設の利用者がスタッフとして携わることもあります。

施設管理責任者の佐々木健氏は「寄付金は利用者が作成する絵や写真など創作活動の道具を購入する際に大切にに使わせていただく」と謝意を示しました。

菅原委員長は「地域の福祉施設の活動を今後も応援していきたいです」と話しました。



利用者（手前中央）と菅原委員長（右）ほか

ことしも資源回収運動を継続 1年目の収集中で環境教材を寄付

仙台建設業協会が環境福祉事業の一環として実施している集団資源回収運動が、ことしで2年目を迎えました。この運動は、会員の会社や家庭から出る資源ゴミを集積先会社単位で集めて回収し、収益を環境福祉事業として社会に還元しようという取り組みで、年5回の回収を予定しています。

資源ゴミは会員会社単位で集め、回収日前日に集積先会社（9社）の指定場所に持ち込む流れとなっています。仙台建設業協会では、ことしから集積場所が一目でわかるような立て看板を作製し、収集先会社へ配付するなど資源を増やす工夫をしました。昨年の12月3日には、1年目の収益金で仙台市の環境学習拠点「せんだい環境学習館環さんサロン」に集音器5台と環境カッブ10セット（120個）を寄付しました。

贈呈式に参加した仙台建設業協会環境福祉委員会の大槻秀樹副委員長は「こうした活動を通じて、環境を良くすればまちが良くなることを子どもたちに伝えていきたいです」と決意を表明。これを受け、仙台市環境局の遠藤守也局長は「環境学習教材を寄付していただきありがたい。われわれが最も力を入れていっている子どもに対する環境のアピールに生かしていく」と謝意を示しました。



新しい顔ぶれ

（代表者変更）

2020年4月1日 株式会社東北コンテック

代表取締役 松岡 秀樹

〃 5月27日 仙台アスコン株式会社

代表取締役 菅井 守

〃 5月28日 株式会社東北リアライズ

代表取締役 渡部 尚

〃 6月1日 株式会社千葉建設

代表取締役 小林 伸介

〃 9月1日 山辰建設株式会社

代表取締役社長 與那覇 一登

〃 9月10日 銅谷建設株式会社

代表取締役社長 結城 和郎

- 第1回集団資源回収運動
- 第1回雇用・安全パトロール

6月

- 仙台地区木造家屋等建築工事安全委員会（書面決議）
- 仙台建設業協会赤い羽根共同募金箱設置について記者発表
- 木造家屋建築工事パトロール

7月

- 今年度要望に関する第1回仙台市との意見交換会
- 木造家屋建築工事パトロール
- 仙台建設業協会2019年度施工仙台市優良建設工事表彰（縮小開催）

- 仙台市建設局長・区建設部長との意見交換会

- 第2回集団資源回収運動

- 宮城県土木部仙台管内事務所との意見交換会

- 常任理事会・第159回理事会

8月

- 仙台市営繕課との意見交換会
- 木造家屋建築工事パトロール
- 第2回雇用・安全管理パトロール

9月

- 下水更生管工事に関する第1回仙台市との意見交換会

行事報告

4月

- 常任理事会・第157回理事会

5月

- 2020年度定時総会（書面決議）
- 第158回理事会（書面決議）
- 宮城県土木部施工管理技士会仙台支部代議員会
- 「新型コロナウイルス感染対策のための寄付金」仙台市への贈呈式
- 木造家屋建築工事パトロール

技術者同士の親睦深める 仙台市で研修会を開催

宮城県土木施工管理技士会仙台支部は10月6日、会員を対象とした研修会を仙台建設業協会が入居する宮城県建設産業会館で開催しました。27人の若手技術者が参加し、施工管理の基本や応用について学んだほか、グループディスカッションを通して親睦を深めました。

開会に当たり、深松努支部長が自身の経験を踏まえつつ「現場では、自分だけで分からないことがたくさんあります。その時に、仲間や先輩などの意見を聞きながらしっかりと仕上げていくことが大切です。今日は、技術的な研修はもちろんですが、他社員との親睦を深め、困ったときに聞き合

える仲間を増やしてほしいです」と呼び掛けました。

研修会では、ワンダーベル合同会社の中村秀樹氏を講師に招き「工事管理の基本と実践力講座」と題して研修を実施。



この中では、①工事管理の基本②ケース別施工対応への実践力応用③の2つのセッションで研修を進め、演習問題などを通じて工事管理の技術を学んだほか、班に分かれての自己紹介や「頼りにならない現場代理人とは？」などをテーマとしたグループディスカッションを行い、技術者間での親睦を深めました。

災害時に迅速な初動対応を 泉区と合同訓練

仙台建設業協会は10月29日、仙台市泉区と災害時合同訓練を実施しました。地震による被災を想定し、泉区隊長社の赤坂建設が出勤。区役所職員と情報を取りまとめながら、円滑な連携を目指して初動対応の手順などを確認しました。

この訓練は、仙台建設業協会が仙台市と結んでいる「災害時における応急措置の協力に関する協定」に基づき区輪番で毎年実施しています。

当日は、8時50分にマグニチュード8.0、震度6弱の地震が発生したと想定。発災後、仙台建設業協会災害応急措置協力会の赤坂建設から担当者が駆け付け、無線による円滑な情報交換で仙建協の協力体制を整えました。



協力会本部は、泉区隊長社を含む計7隊長社に各作業隊本部の立上げを要請しました。その後、協力会本部より泉区へ災害対策本部の設置を報告したのに対し、泉区より協力要請と出勤要請がありました。市道加茂幹線2号線道路の一部などが陥没しているとの通報が消防から入り、班長社の担当者と泉区職員が現場に急行しました。現場に到着した職員らは状況を確認した後、応急復旧が必要と判断。連絡を受けた区は、応急復旧作業と資材の搬入を要請しました。円滑なやりとりにより発災から約1時間後で初動対応を終えました。

訓練を担当した赤坂建設の佐藤貴専務取締役は「有事に迅速に行動できるよう、これから訓練を続けたいです」と気を引き締めました。



発行所 一般社団法人 仙台建設業協会 発行 2020年12月

STAFF ■発行人／深松努 ■編集人／熱海義浩 ■編集スタッフ／三浦修・須藤孝浩・土山拓・青田茂雄・小野麻子・鶴谷侑子・岩佐慎介
■編集協力／建設新聞社 ■印刷・製本／建設プレス